

港区立郷土歴史館 令和7年度企画展

歴史館コレクション

ひびきあう美術



令和7(2025)年4月19日(土)～6月15日(日)



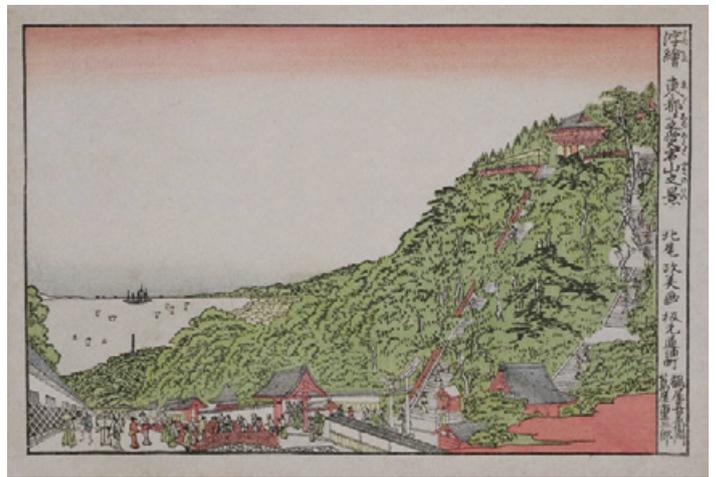
画像(左上から右下):ラグーザ玉「紫陽花図」昭和8～14(1933～1939)年/服部雅永「鷺」昭和40(1965)年/奥山儀八郎「三田慶應義塾」昭和7(1932)年/永井荷風による絵付「茶焼花瓶」大正～昭和時代/山中敏男「箏」平成23(2011)年/歌川国長「新板阿蘭陀浮画楽徳海嶋銅人巨像」文化(1804～1818)頃

歴史館コレクション

ひびきあう美術

港区立郷土歴史館では港区の歴史や文化に関わる資料を収集しています。このたびは館蔵品の中から、港区で活躍した芸術家の作品や港区ゆかりの方々から寄贈された作品など、選りすぐりの美術工芸品を紹介します。

明治期に海外で活動した女性画家の洋画、初公開の肉筆画や木版画、文学者との交流から生まれた美術、無形文化財保持者による工芸品など、もたらされた経緯をひもとくと、郷土歴史館ならではの物語が見えてきます。さまざまな美術がひびきあう空間をお楽しみください。



とっておきの木版画

北尾政美「浮絵 東都芝愛宕山之景」
江戸時代後期

NHK大河ドラマ「べらぼう」で話題！
髯屋重三郎と鶴屋喜右衛門の共同出版。



ゆかりの女性画家

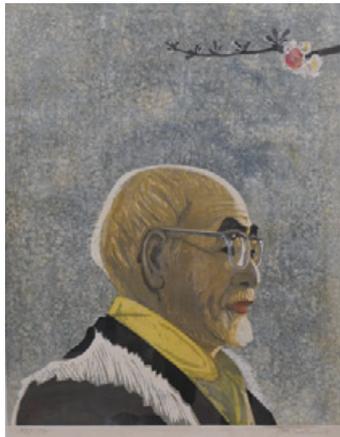
ヘレン・ハイド「蝶々」
明治41(1908)年
アメリカの女性版画家、
赤坂にアトリエを構える。

港区の伝統工芸



薩摩琵琶
四世石田不識(国選定保存技術
「琵琶制作修理」保持者)
平成19(2007)年

桐木地六弁盛器
中臺瑞真(重要無形文化財
「木工芸」保持者)
昭和～平成時代



文学にみる美術

関野準一郎「志賀直哉像」
昭和42(1967)年

志賀直哉は白樺派の小説家、
14歳から15年間、六本木に居住。

託されたモノ ～寄贈品より

歌川国長
「山岸家中興之像」
文化14(1817)年
新橋で鍛冶屋業を営んだ
山岸家当主の肖像で、
浮世絵師歌川国長による肉筆画。



観覧料

企画展のみ 大人 200円(160円) 小・中・高校生 100円(80円)
常設展セット 大人 400円(320円) 小・中・高校生 100円(80円)

※()内は10名以上の団体料金
※港区在住・在学の小・中・高校生、港区在住の65歳以上の方、港区在住の障害者とその介助者(1名)の観覧料は無料(証明ができるものをご持参ください)
※5月5日(月・祝)は港区民無料公開日(港区在住の証明ができるものをご持参ください)

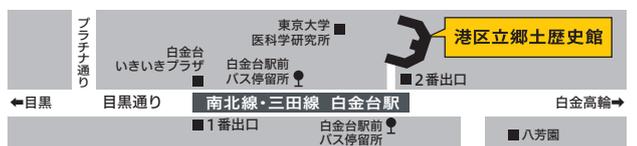
開館時間 午前9時～午後5時(土曜日のみ午後8時まで)
※入館受付は閉館の30分前まで

会期中休館日 5月15日(木)

MINATO CITY LOCAL HISTORY MUSEUM 港区立郷土歴史館



〒108-0071 東京都港区白金台 4-6-2 ゆかしの杜内 電話 03-6450-2107 minato-rekishi.com



●東京メトロ南北線・都営三田線 白金台駅 2番出口 徒歩1分
●都営バス・東急バス 白金台駅前停留所 徒歩1分
※駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。
※障害者用の駐車場がございます。